

## 令和元年度東村山市総合教育会議の進め方について意見整理

### 1. 今年度の総合教育会議を進めるにあたって

主なご意見
<ul style="list-style-type: none"><li>● 毎回、短時間であっても意義深い話し合いができていることに感謝しています。</li><li>● 多様な課題の解決にかかわり、各所管が明確な方針のもと、相互の関連を重視して取り組んで下さっていることが本当によく分かり、充実した時間になっています。</li><li>● 実効性を高めるために、 「総合教育会議 → 実務レベルの担当者会 → 1つ以上、新たな取り組み（施策）を提案・実施 → 検証」 というサイクルを取り入れたらどうか。</li></ul>

### 2. 教育の諸課題について提案一覧

主なご意見
<ul style="list-style-type: none"><li>● 東村山市内にある文化財を活用したまちづくりについて</li><li>● 学校と地域社会との連携・協働 「地域学校協働活動」をイメージしています。 文科省は「学校を核とした地域づくり」を掲げていますが、地域力を学校教育に生かすとともに、地域や家庭の教育力の向上を図っていければと考えました。 取り組みの現状や課題を整理しておくことも大切だと思います</li><li>● 子ども達、市民の体力・運動能力の向上と健康づくり 子ども達の基礎体力や運動能力の向上方策と合わせ、生涯スポーツ等、市民の体力づくり等を考えたいからです。障害者スポーツの振興も視点と</li></ul>

して取り上げたいと考えました。(市民スポーツ課の移管の効果もアピールしたいところです)

- まちづくりの中核としての図書館、公民館、ふるさと歴史館等の充実  
市民の学びの場、コミュニティの場としての図書館や公民館等の多様な取り組みを確認し、より多くの年齢層の市民が集える空間としてさらなる発展を期待しています。  
また、学校との連携の一層の充実も図りたいところです。  
成年年齢の引き下げに対応するシチズンシップ教育等も視野に入れたいと考えます。
- 新たな課題ではないが、「共生社会の構築に向けて」は今後もフォローしたい
- 災害時における市内小中学校各校の取り組みについて
  - ・ 災害用備蓄食料の管理
  - ・ 引き取り訓練の実施内容
  - ・ 地域における避難所運営連絡会の取り組み
- 豊かな共生社会が、温かな生活しやすい「子育てするなら東村山」につながる、言わば「教育（行政）からの街づくり」の視点で、取り組んできたことをまとめる。
  - ①全生園から学んできたこと
  - ②いのちとこころの教育を継続してきたこと
  - ③多文化共生に取り組んできたこと
  - ④特別支援教室の導入